

座標: 北緯34度28分18.44秒 東経135度49分42.14秒

ウィキペディア

岡寺

出典: フリー百科事典『ウィキペディア（Wikipedia）』

岡寺（おかでら）は、奈良県高市郡明日香村にある真言宗豊山派の寺院。山号は東光山、寺号は**龍蓋寺**（りゅうがいじ）とも称し（後述）、詳しくは東光山真珠院龍蓋寺という^[1]。本尊は**如意輪観音**。西国三十三所第7番札所^[1]。

目次

歴史

寺号について

境内

文化財

国宝

重要文化財

史跡（国指定）

奈良県指定有形文化財

その他の文化財

御詠歌

札所

交通

脚注

関連項目

歴史

『東大寺要録』『義淵伝』、『扶桑略記』等によれば、天武天皇の皇子で27歳で早世した草壁皇子の住んだ岡宮の跡に義淵僧正が創建したとされる。この時、同時に龍門寺なども建立された。史料上の初見は、天平12年（740年）7月の写経所啓（『正倉院文書』）である^[2]。

岡寺



伽藍

所在地 奈良県高市郡明日香村岡806

位置 北緯34度28分18.44秒 東経135度49分42.14秒

山号 東光山

院号 真珠院（眞珠院）

宗旨 新義真言宗

宗派 真言宗豊山派

本尊 如意輪観音

創建年 7世紀末頃

開基 伝・義淵

正式名 東光山真珠院龍蓋寺

別称 龍蓋寺

札所等 西国三十三所第7番

文化財 義淵僧正坐像（国宝）
仁王門・書院・如意輪観音像ほか（重要文化財）
本堂・楼門（県指定有形文化財）
日本遺産

公式HP 日本最初やくよけ霊場・西国第七番 岡寺
(<http://www.okadera3307.com/sp/>)

法人番号 4150005004878
(<https://www.houjin-bangou.nta.go.jp/henkorireki->

現在の寺域は明日香村の東にある岡山の中腹に位置するが、寺の西に隣接する治田神社（はるたじんじゃ）境内からは奈良時代前期にさかのぼる古瓦が発掘されており、創建当時の岡寺は現在の治田神社の位置にあったものと推定されている。寺跡は平成17年（2005年）に「岡寺跡」として国の史跡に指定された。

現在では真言宗豊山派の寺院だが、義淵僧正は日本の法相宗の祖であり、その門下には東大寺創建に関わった良弁や行基などがいた。義淵僧正が法相宗の祖とされていたため、江戸時代までは興福寺の末寺であった。江戸時代以降は長谷寺の末寺となった。

寺号について

前述のように、当寺院には「岡寺」「龍蓋寺」の2つの寺号がある。「岡寺」は地名に由来する寺号、「龍蓋寺」は法号である。仁王門前の石柱には「西国七番霊場岡寺」とあり、通常はもっぱら「岡寺」の呼称が用いられている。宗教法人としての登録名も「岡寺」である。そのため、重要文化財建造物の指定名称は「岡寺仁王門」「岡寺書院」となっている。「龍蓋寺」の法号は龍蓋池に封じた竜の説話に由来する。

境内

- 仁王門（重要文化財） - 慶長17年（1612年）再建。
- 本堂 - 文化2年（1805年）建立。塑造如意輪観音坐像を安置。
- 開山堂 - 寛政9年（1797年）頃。
- 楼門 - 慶長年間（1596-1615年）頃建立。
- 鐘楼 - 本堂と同時期に再建。梵鐘、文化5年（1808年）銘^[1]。
- 書院（重要文化財） - 寛永21年（1644年）建立。
- 石塔 - 昭和元年（1926年）建立。
- 三重塔 - 昭和61年（1986年）再建。文明4年（1472年）7月21日に転倒^[1]。
- 弥勒堂
- るり井
- 龍蓋池 - 龍蓋寺の由来となった池、義淵僧正の伝説が伝わる。
- 稻荷社
- 義淵僧正廟 - 延文5年（1360年）建立。
- 大師堂

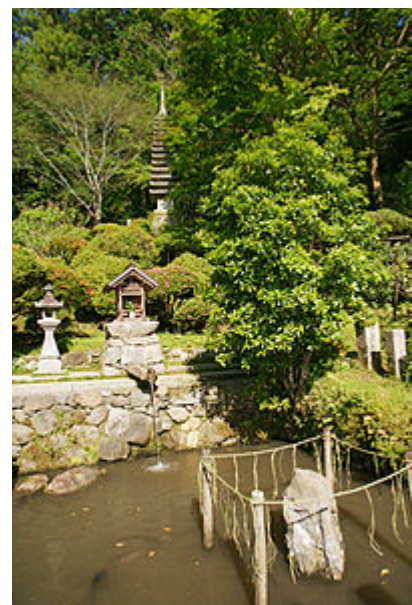
johoto.html?
selHouzinNo=4150005004878)



完地図

s://maps.gsi.go.jp/#9/34.471789/135.828372/)
leマップ (https://www.google.co.jp/maps?
&ll=34.471789,135.828372&t=h)

岡寺



龍蓋池

- 納骨塔
- 仏足石



楼門



三重塔



奥の院



十三重石塔



鐘楼堂



本堂



仁王門

文化財

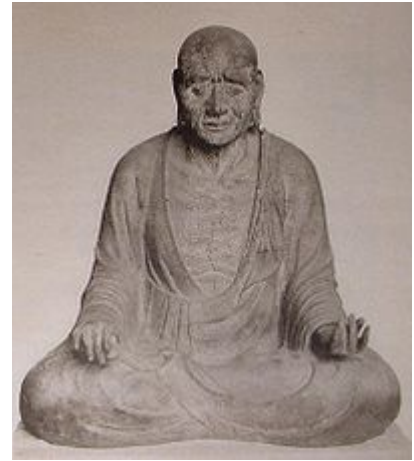
国宝

- 木心乾漆義淵僧正坐像 - 奈良時代。目尻が垂れ下がり、皺の多い独特の容貌、あばらの浮き出た胸板などを写実的に表現している。奈良国立博物館に寄託。

重要文化財

- 仁王門
- 書院

- 塑造如意輪観音坐像 - 奈良時代、像高4.85mの日本最大の塑像である。如意輪観音像は6臂の坐像に表すものが多いが、本像は石山寺本尊などと同様の2臂像である。頭部は造像当初のものを残すが、体部は補修が多く、脚部は本来、石山寺本尊像と同様の半跏像であったものを現状のような坐像に改めたものである。
- 銅造菩薩半跏像 - 奈良時代。京都国立博物館に寄託。重要文化財指定名称は「銅造如意輪観音半跏像」。
- 木造仏涅槃像 - 鎌倉時代。東京国立博物館に寄託。
- 天人文甎（てんにんもん せん） - 京都国立博物館に寄託。



義淵僧正坐像

史跡（国指定）

- 岡寺跡

奈良県指定有形文化財

- 本堂
- 楼門



仏涅槃像

その他の文化財

- 弘法大師像 - 鎌倉時代、絹本着色
- 扁額 - 鎌倉時代、弘法大師筆とされる。
- 如意輪観音像 - 室町時代、絹本着色
- 不動明王像 - 室町時代、絹本着色
- 龍蓋寺縁起 - 江戸時代



天人文甎

御詠歌

けさ見れば つゆ岡寺の 庭の苔
さながら瑠璃の 光なりけり

札所

西国三十三所

6 南法華寺 -- **7 岡寺** -- 番外 法起院

交通

- 近鉄橿原神宮前駅東口（2のりば）・飛鳥駅から、奈良交通・明日香周遊バス（赤かめ）などに乗車。

「岡寺前」下車、徒歩約10分

- 桜井駅南口（2のりば）から、奈良交通・[37]石舞台行に乗車（平日は本数少）。

「治田神社前」下車、徒歩約7分

脚注

- ↑ *^{**a**}* *^{**b**}* *^{**c**}* *^{**d**}* 岡寺 『岡寺の靈宝』、平成13年（2001年）。
- ↑ 『国史大辞典』（吉川弘文館）の「岡寺」の項による

関連項目

- 奈良仏教
- 岡本山岡本寺
 - 岡本寺子安観音
- 治田神社
- 日照山来迎院常谷寺^[1]
- 大和岡城（跡）
- 法起院 西国三十三所番外札所
- 長谷寺
- 日本の寺院一覧
- 飛鳥光の回廊

- ↑ [1] (http://otera.jodo.or.jp/temple/30-133/)

「https://ja.wikipedia.org/w/index.php?title=岡寺&oldid=73601191」から取得

最終更新 2019年7月25日 (木) 07:15（日時は個人設定で未設定ならばUTC）。

テキストはクリエイティブ・コモンズ 表示-継承ライセンスの下で利用可能です。追加の条件が適用される場合があります。詳細は利用規約を参照してください。